

消石灰を取り扱う際の注意

畜産農場で使用する消毒用の消石灰は、比較的安全な物質ですが、**強アルカリ**であること、**水や汗に触れると火傷のような症状**を引き起こすことがあるため、その取り扱いには注意が必要です。

【注意点】

- ① 皮膚、口、呼吸器等を刺激し、**皮膚や粘膜が赤くただれる**ことがあります。
- ② 眼に対して刺激性であるため、**視力障害**を起こすことがあります。
- ③ 皮膚に付いて水や汗に触れると火傷のような症状を引き起こすことがあります。
- ④ 取り扱った後は、**手洗いとうがい**を忘れないようにしてください。
- ⑤ **子供の手の届かない所**に保管してください。

【使用する際には】

- ① **保護メガネ**(目に入らないようにします。)
- ② **保護手袋**(ビニール手袋などを用いて、消石灰が直接肌に触れないようにします。)
- ③ **保護マスク**(吸い込んだり、飲み込まないようにします。)
- ④ **保護衣服**(防水性の作業着などを着用し、直接肌に触れないようにします。)

【万が一の際には】

- ① **目に入った場合**: 直ちにきれいな大量の水で15分以上洗浄し、速やかに医師の診察を受ける必要があります。
- ② **吸い込んだ場合**: 新鮮で清浄な空気のある場所に移動し、きれいな水でうがいし、鼻の穴も洗浄後、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ **飲み込んだ場合**: 直ちにきれいな水で口の中をよく洗い、速やかに医師の診察を受けてください。
- ④ **皮膚に付いた場合**: 直ちに大量の水で洗い流し、強い肌荒れや火傷のような症状が見られたら、速やかに医師の診察を受けてください。

消石灰は、強いアルカリであることを忘れずに、周囲の農業者や農場など周辺環境にも配慮しながら散布してください。

(参考: 高病原性鳥インフルエンザに関する防疫作業マニュアル(農林水産省))